

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
地域生活支援センターかのん		2025年 8月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	・外活動を積極的に行っている。 ・いくつか利用できる場所を用意している。 ・十分なスペースがあり適切。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	1		・男性職員が足りず男性利用者の対応に苦慮するところがある。男性がもう少し居れば尚良い。 ・利用者につけるスタッフが少ないと感じる時がある時はある。→定員に対して十分な配置はしてあるので、グルーピングや活動内容の工夫、職員のスキル向上などの必要性は感じている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	0		・現状支障は来たしていないがトイレについては改善の余地がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	・個室も一つではあるが用意している。 ・リラックスして過ごせるスペースになっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	小部屋を用意して対処している。	・個室の部屋への死角があり見づらく感じる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13	2	・夜間に振り返りの時間を作っている。	・意見をいいやすい環境であるがPDCAサイクルが明確でないところもある。 ・支援会議があまりなされていないように感じる。一年に2回のケース会議と合わせて、日々のミーティングでも個々について話し合いを行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	・保護者からよく意見を募っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	・毎日必ずミーティングをし児童への対応を日々確認しながら行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	6		・外部評価があるかどうかよくわからない。→第三者評価は受けていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	・得たい研修があれば教えてほしいと言われている。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0		・作成については知っているが公表についてはよくわからない。→ホームページで公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15	0	・行っていると思う。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	・作成する際に職員で会議を行っている。 ・共有、検討されているように思う。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	・計画を確認して対応している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0	・アセスメントは様々な角度で行われていると思う。 標準化されたツールがよくわからないが。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	・フォーマットに従って記載をしていると思う。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	・活動前にミーティングを行っている。 ・その日の出勤スタッフ全員で意見を出し合って決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	・かなり色々な場所へ行こうと工夫している。 ・週の中で担当を変えたり、週案を作成し被らないようにする。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	15	0	・意識して行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0	・必ず行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0	・必ず振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0	・ケース記録を必ずつけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	・モニタリングをし見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	13	2		・職員全体の意識が少し足りないかもしれない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15	0	・自己決定ができるよう意識して行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	1	・参画していると思う。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	3	・学校と支援会議を行う場合もある。	・どこまでが求められているかよくわからないが体制的に不十分かもしれない。→必要に応じて関係機関との連携を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15	0	学校との連携はできていると思う。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	2	・児童発達支援事業も行っている。 ・充分でないかもしれないがアセスメントをしている。保護者から聞き取りしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	14	1	・短期入所や移動支援事業所も行っている。 ・情報提供をしていると思う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	4		・連携を取っていると思うが研修等はいくつもない。→常勤職員が研修に行っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	13	2	・児童館との連携はできているように思う。 ・公園に行き、遊ぶそうながいれば一緒に遊ぶ。 ・計画して一緒に活動はしないが、児童館などで交流はある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	15	0	・していると思う。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	4	・保護者会を定期的に行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	0		・行っているかよくわからない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	・機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	0	同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	面談や助言をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	15	0	支援をしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0		・していると思うが、詳しくはよくわからない。→現在正式な苦情は受けていない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	・かのん通信を定期的に発行し、情報発信、共有に努めている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	・十分留意している。特に写真など。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	・個別によくしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	7		わからない。→地域のお祭りに事業所として参加することはあるが、事業所の行事に招待することはない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1	・マニュアルの作成、職員等への周知をしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	・BCP策定し、訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	・日々のミーティングで確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	・対応がされている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	2	・されていると思う。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	3		・わからない。→安全計画を作成し、ホームページで公開している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	・共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	1	・研修をよくしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	2	・身体拘束はしていない。	・組織的に共有が足りないかもしれない。事前説明にしても足りないかもしれない。→職員全員が参加できるケース会議にて話し合っている。保護者へは面談の際に説明している。